13066 小学校生活科教材研究 a、b Research in Elementary School Life Studies Teaching Materials		3 年次～ 後期 2 単位																			
担当者	大内 弘之	履修可能学科	Pe																		
		関連資格	教職必(P e)																		
サブタイトル	生活科授業づくりと教材研究																				
授業内容 ねらい	<p>1 今次改訂の特徴と生活科の趣旨の実現に沿った授業づくりについて理解力を高める。 *基本方針、要点：目標（教科5つ図示、学年4つ）、内容（全体構成マトリックス表）、指導計画の作成と内容の取扱い（2項目4つ）、気付きの質を高める指導（施策4つ）、評価の観点や方法</p> <p>2 学習環境の構成、学習活動の設定、地域やくらしの教材化、教師の働きかけ等の教材研究力をつける。</p> <p>3 参考資料から、テーマにもとづく学習指導と教材づくりの基礎・基本を学習力をつける。</p> <p>4 テーマ、単元名を選択し、グループ毎に協同で指導案作成力（教材研究力）をつける。 *全体に発表し、協議（質疑応答）する。発表と協議会を2回行う。</p> <p>○ 総合的な学習の時間に生きる生活科の学びの指導・支援が分かる。</p>																				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>○ 今次改訂の特徴と趣旨を理解する</td> <td>8 体験と言葉を重視した教材</td> </tr> <tr> <td>1 教科目標の構造化、内容の全体構成</td> <td>9 他教科と合科・関連化を図る教材</td> </tr> <tr> <td>2 気付きの質を高める授業と評価方法の工夫</td> <td>10 幼小の交流、合科総合活動を図る教材</td> </tr> <tr> <td>○ 下記テーマに基づく学習指導と教材づくり</td> <td>11 生命尊重、安全指導に関する教材</td> </tr> <tr> <td>3 人との関わりを深める教材</td> <td>12 自分の成長・自立を高める教材</td> </tr> <tr> <td>4 家族のふれ合いを重視する教材</td> <td>13 授業づくり発表と協議・その1</td> </tr> <tr> <td>5 科学的な見方・考え方を培う教材</td> <td>14 授業づくり発表と協議・その2</td> </tr> <tr> <td>6 思考と表現の一体化を図る教材</td> <td>15 授業のまとめと評価</td> </tr> <tr> <td>7 活動や体験での学びをより確かにする教材</td> <td></td> </tr> </table>			○ 今次改訂の特徴と趣旨を理解する	8 体験と言葉を重視した教材	1 教科目標の構造化、内容の全体構成	9 他教科と合科・関連化を図る教材	2 気付きの質を高める授業と評価方法の工夫	10 幼小の交流、合科総合活動を図る教材	○ 下記テーマに基づく学習指導と教材づくり	11 生命尊重、安全指導に関する教材	3 人との関わりを深める教材	12 自分の成長・自立を高める教材	4 家族のふれ合いを重視する教材	13 授業づくり発表と協議・その1	5 科学的な見方・考え方を培う教材	14 授業づくり発表と協議・その2	6 思考と表現の一体化を図る教材	15 授業のまとめと評価	7 活動や体験での学びをより確かにする教材	
○ 今次改訂の特徴と趣旨を理解する	8 体験と言葉を重視した教材																				
1 教科目標の構造化、内容の全体構成	9 他教科と合科・関連化を図る教材																				
2 気付きの質を高める授業と評価方法の工夫	10 幼小の交流、合科総合活動を図る教材																				
○ 下記テーマに基づく学習指導と教材づくり	11 生命尊重、安全指導に関する教材																				
3 人との関わりを深める教材	12 自分の成長・自立を高める教材																				
4 家族のふれ合いを重視する教材	13 授業づくり発表と協議・その1																				
5 科学的な見方・考え方を培う教材	14 授業づくり発表と協議・その2																				
6 思考と表現の一体化を図る教材	15 授業のまとめと評価																				
7 活動や体験での学びをより確かにする教材																					
教科書 参考書	教）文科省『学習指導要領解説－生活編』（日本文教出版 1 0 1 円）																				
評価方法	授業への意欲・関心、課題へのチャレンジ、テスト（理解とコメント力）																				
事前準備学習 履修条件等																					